



創
っ
て
み
よ
う
！

12 つくる責任 つかう責任
∞



木は表面を焼き、磨くことで非常に長持ちします。木の持つ魅力を生かして自分だけのオリジナルプレートを作ってみませんか。

焼き杉

【説明】

杉板を焼き、木目を生かした加工や装飾ができるオリジナルプレートを作る活動です。

【ねらい】

焼き杉の活動を通じて、自然素材の性質や加工について学ぶとともに、ものをつくりだす喜びを味わう。



炊飯場



小学校4年生～



1.5～2.0 時間



通年



50 人程度



指導あり
(要電話予約)

貸出できるもの

- ・まき
- ・火ばさみ
- ・竹ぼうき
- ・杉板
- ・点火器
- ・なた
- ・柄付きワイヤブラシ

団体に準備するもの

- ・新聞紙
- ・軍手
- ・マスク
- ・材料費 100 円/1 人 (薪代別)
- ・ゴミ袋 (汚れた新聞紙を捨てるため)

■■■■■活動の展開例■■■■■

①火おこし

②杉板焼き

③研磨

④仕上げ



活動上の留意点

- ・ 活動中の火傷やけがを防止し、安全に行えるよう、事前の説明や学習等を行ってください。
- ・ 杉板を持って移動する際は、常に周囲の安全を確認して行ってください。
- ・ 杉板の焼き加減は好みです。焼失しない程度に焦げるまで焼いても大丈夫です (様々な形になって良い)。



○ 焼き杉は、プレートを作るまでのプログラムです。色付けや装飾は、各自が持ち帰ってから行ってください。

活動の流れ(例)

※ かまどで杉板を焼く事例です。

事前の説明	事前に当施設で撮影したビデオを見ておくことで活動の様子が分かり、当日の活動が進めやすくなります。
1 火おこし	かまどにまきを組んで火をおこす。
2 杉板焼き	- まきがしっかりと燃え出したら、杉板を火バサミではさんで火の中に入れる。 - 焼き過ぎないように、時々、杉板をひっくり返して全体に焼き目が付くように調整する（側面も忘れずに焼く）。 - かまどの前に大人数いると危険なため、一度に2～3人ずつ行う。 - 消火用に砂を入れたトロ舟を準備しておく。 - 杉板が焼けたら、かまどから出し、トロ舟に入れ、砂をかけて火を消す。 - 砂の所（トロ舟）に移動させる際は、周りに人がいないことを確かめ火傷をしないように注意する。
3 研磨	- 杉板の火が消えたら、新聞紙の上で柄付きワイヤブラシを使って、杉板の炭の部分をかすり落とす。 - 炭の粉がたくさん出るので、吸い込まないようにマスクを着用して作業を行う。また、目に入らないように注意する。 - こすり落とした炭は、周りに飛び散らないように注意し、灰捨て場に捨てる。または、新聞紙に包んでゴミ袋に入れ捨てる。
4 仕上げ	- 新聞紙を丸め、炭を落とした杉板の表面を磨く。 - 手で触ってみて、炭が付かないようになるまで磨けたら出来上がり。

装飾について

- ① 当施設で装飾まで行う場合は、その時間を確保する必要があります。その際に絵筆、水入れ、グルーガン（本体）については、野外活動センターのものを貸出可能ですが、装飾に係る画材等（アクリル絵の具、カラーテックス、ビーズ等）は、利用団体で用意してください。
- ② 絵を描く場合の画材にはアクリル絵の具やカラーテックが適しています。着色後、乾燥に時間がかかるので注意してください。

※ 装飾方法や道具の選定について、気になることがあれば当施設へご相談ください。





創
っ
て
み
よ
う
！



小枝クラフト

【 説 明 】

当施設内の松や桜などの間伐材（自然木）等を素材とし、小枝で作品を作る活動です。

【 ね ら い 】

小枝クラフトを通じて、自然素材の性質を理解するとともに、創意工夫してクラフトに取り組む創造力や集中力を育む。



工作館



小学校1年生～



1.5～2.5時間

（材料集めからの活動に
すると、2.5～3.5時間）



通年



80人程度



指導あり
（要電話予約）

貸出できるもの

・はさみ、のこぎり、小刀など

※ ホットボンド、木工ボンド、竹ひご
麻ひも等は、当施設で準備します。



作品例



①小枝を切る

②小枝を削る

団体で準備するもの

- ・軍手
- ・マジック、その他装飾に必要なもの
- ・材料費60円/1人（ヒートン1個を含む）

【活動時間によって内容が制限されます】

③どんぐりで装飾する ④小枝を組み合わせる



安全上の留意点

- ・ 利用団体の引率者は刃物の扱いや火傷等、道具の使い方に十分留意してください。
- ・ キーホルダー用として、一人に1個のヒートンを用意しています。複数必要な場合は、各団
体で準備してください。



道具の使い方 説明

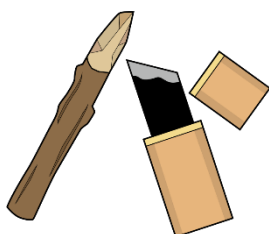
※ 道具を持たない手に、軍手をつけましょう！

のこぎりの使い方



- ① のこぎりは、引く時に力をいれ、押す時に力を抜きます。
初めはストロークを小さく、材料にのこ刃が食い込み出したらストロークを大きくします。
- ② 力任せではなく、刃が材料を削っていくのを体感しながら、のこぎりの重さで自然に切っていきます。

小刀の使い方



- ① 利き手で小刀の柄の部分を持ちます。親指を伸ばし、削る小刀の刃の峰（背の部分）に当てます。
もう一方の手で削る木材を押さええます。
- ② 親指で峰を押しながら木材を少しずつ削ります。
『小刀』の良さは、利き手で切りやすいように刃先の角度を変えたり、木材の削る角度を調整したりできることです。
また、刃に厚さがあるため刃先の力が強く、木材の曲線削りや、スライドさせて表面削りなどに使うことができます。

グルーガンの使い方

【使い方 1】

- ・ グルーガン本体の後ろの穴から、スティックを奥まで差し込みます。

【使い方 2】

- ・ グルーガンの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ・ 約 5 分でスティックが加熱され、使用可能な温度に達します。
- ・ 使うときは必ずノズルを下に向けた状態で持ちます。
（ノズルを上に向けると、溶けたスティックが本体を逆流し、故障する恐れがあります。）
- ・ 溶けたスティックが溶け出しても良いように、ノズルの下に受け皿等を敷いておきます。

【使い方 3】

- ・ トリガーを引いてスティックを押し出すことで、溶けた接着剤がノズルから出てきます。

【使い方 4】

- ・ ノズルから溶け出た接着剤を材料につけて接着します。
- ・ 接着剤は数秒で固くなり始めますので、すばやく接着します。

【片付け方】

- ・ コンセントからプラグを抜き、本体を冷まします。
- ・ 本体が十分に冷えてから、スティックは本体に差し込んだままで片付けます。





創
つ
て
み
よ
う
！



竹クラフト



【 説 明 】

小刀を使って竹を削り、竹はしや竹とんぼを作る活動です。

【 ね ら い 】

小刀を使った創作活動を通じて、創作する楽しさや充実感、手作りの作品を完成させる達成感を味わうとともに、友達の頑張る姿や作品を見ることで友達の良さを知る。



工作館・炊飯場



1.5～2.0時間



100人程度



小学校4年生～



通年



指導あり
(要電話予約)

貸出できるもの

- ・小刀 ・きり ・はさみ
- ・のこぎり ・木づち 等

団体で準備するもの

- ・軍手
- ・クラフト材料費
- ・工作館で活動する場合、上靴

■■■■■■作品例■■■■■■

①竹はし

②ブンブンごま

③竹とんぼ

④竹けん玉



材料費 40円



材料費 40円



材料費 40円



材料費 110円



活動上の留意点

利用団体の引率者は、刃物を扱うため、安全と事故防止に十分留意してください。
特に、軍手の着用、小刀の持ち方、人と人との距離を確保できるよう留意してください。

題 材

- ① 竹はし ② プンブンごま ③ 竹とんぼ ④ 竹けん玉

- 雨天対応のプログラム（雨プロ）は、「①竹はし」「②プンブンごま」に限ります。また、材料調達の関係上、活動時期によっては、ご希望に添えないこともあります。
- 工作館の利用は、利用期間中1団体1作品です。
- 団体が自主的に活動される場合については、職員にご相談ください。



活動場所・定員

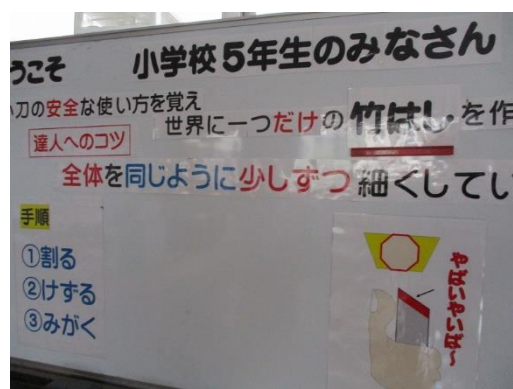
- ① 工作館（定員100人＜ただし、けん玉の上限人数は80人＞） 予約先着順
- ② 野 外（定員なし）

貸出道具

- ① 工作館の場合 小刀、木づち、なた、下敷き板、のこぎり、きり、さしがね、木工用接着剤、ものさし 等
- ② 野 外の場合 小刀、木づち、なた、下敷き板 等

活動の流れ(例)

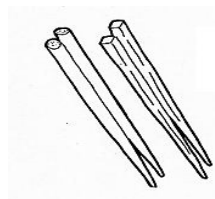
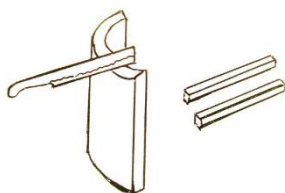
- ① 集合（工作館の場合）
- ② あいさつ
- ③ 事前説明
（グループ分け、安全面等）
- ④ 制作活動
- ⑤ 道具の片付け
- ⑥ 削りかす等の始末
- ⑦ はき掃除・モップかけ
- ⑧ あいさつ



① 竹はし

活動時間 1.5~2時間

材料費 40円/1膳



① なたで、竹を約8mmの太さに割る。

② 小刀で、はしの形にけする。

② 竹とんぼ

活動時間 2時間

材料費 40円/1個

【作り方】

① 羽根の横幅は、12cm、軸は15cmの長さの竹を準備する。羽根の幅の中心に、きりで穴をあける。 	② 羽根の両端を写真のように削る（断面が三角になるように削る。）。 	③ 羽根の表面を小刀で削る。 	④ 羽根の裏面も削って、徐々にうすく仕上げる。 	⑤ 軸を削り、羽根の裏面から木づちで穴に打ち込む。 
--	--	---	---	--

③ 竹けん玉

活動時間 2時間

※定員 80人 材料費 110円/1個

【作り方】

- ① 本体（筒状の竹）に、油性マジックで取り除く部分に印を書き、のこぎりで切り込みを入れる。



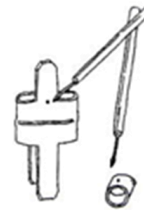
② のこぎりで切り込みを入れた後、なたと木づちを使い、取り除く部分を割り落とす。



③ 小刀で角が丸みを帯びるように削り、形を整える。



④ きりで、けん玉本体とけん玉の玉となる輪に穴を開け、ひもで結びつける。



④フンフンごま

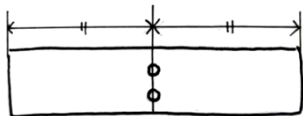
活動時間 1.5～2時間

材料費 40円/1個

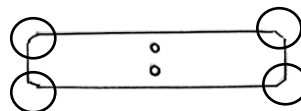
【作り方】

- ① ものさしと鉛筆を使って、竹の全幅の中心に印をつけて、縦に2か所、きりで穴を開ける。

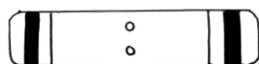
※ 穴と穴の間隔は5mm程度がよい。



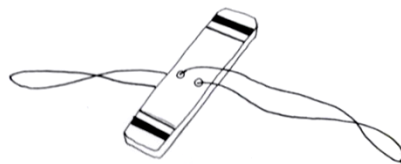
- ② 竹の表面・角などを小刀を使って削る。紙やすりで角を削り、なめらかにする。



- ③ 回したときに美しい模様が描けるように色を付ける。



- ④ 穴にタコ糸を通し、結んで輪にする。





創
っ
て
み
よ
う
！

12 つくる責任
つかう責任



たたき染め

【 説 明 】

施設内に自生する植物を木づちでたたき、布に着色する伝統的な染色工法の活動です。

【 ね ら い 】

植物の色や形を観察し、その特徴を生かし、自分なりの作品を作る創造力を育む。



工作館 研修室
炊飯場



1.0～1.5時間



100人程度



小学校1年生～



通年



指導あり
(要電話予約)

貸出できるもの

・下敷き板 ・木づち

※ ガーゼハンカチ(正方形30cm)は、当施設で準備します。

団体で準備するもの

- ・新聞紙(1人1日分)
- ・着色にしたい植物
- ・体験料 60円/ガーゼ1枚

■■■■■作品例■■■■■



活動上の留意点

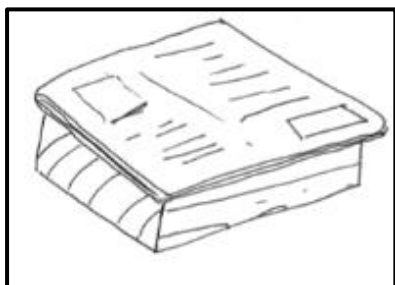
- ・ 利用団体の引率者は、「うるし」や「はぜ」など接触により炎症やかぶれを引き起こす植物を使用しないよう注意し、安全と事故防止に十分留意してください。
- ・ 植物の採集については、活動範囲を限定し、活動時間内に子どもたちが集合できるよう、事前に確認を行ってください。



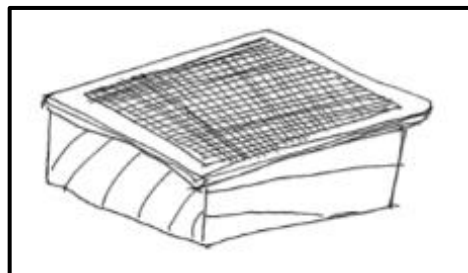
活動の流れ(例)

○ たたき染めに使う植物は、採取する場所や方法について、事前に当施設と協議してから採取してください。（協議時、当施設から採取可能範囲や種類等についてお伝えします。）。

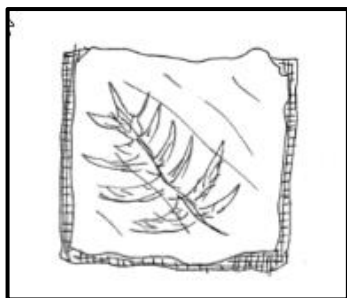
- ① 下敷き板の上に新聞紙を重ねて、台を作ります。



- ② 新聞紙の上にガーゼハンカチを置きます。



- ③ ガーゼハンカチの上に花や葉を配置します。



- ④ 植物の上にラップ（半紙・ティッシュでも可）をかぶせます。



- ⑤ ④の上から木づちで小刻みにまんべんなくたたきます（特に葉の部分は強めにたたく。）。



- ⑥ ガーゼに植物の色が付着したことが確認できたら、植物を取り除いて完成です。



※ たたき染めした布を直接洗淨すると、すぐに色落ちします。必要に応じて、「色の定着作業 [媒染(ばいせん)]」を行ってください。媒染の仕方にはいくつかの方法がありますので、必要に応じて行ってください。



創
っ
て
み
よ
う
!



ウッドペンダント

【 説 明 】

当施設内に自生する「リョウブの木」を材料とし、絵や文字を描いて、オリジナルペンダントを作る活動です。

【 ね ら い 】

ペンダント作りを通じて、自己表現をしたり、友達の作品の良さを認め合ったりする態度を養う。



工作館 研修室
炊飯場



0.5～1.0時間



定員なし



幼児（年少）～



通年



指導なし
（要電話予約）

貸出できるもの

・特になし

団体に準備するもの

・マジック ・材料費 60 円/1 枚

※ ウッドペンダント（リョウブの木をプレート状にしたもの）と長さ80cmのひもは、当施設で準備します。

■■■■■ウッドペンダントの作品例と装飾等によりアレンジした例■■■■■

①ペンダント

②マグネット

③ブローチ



※ ウッドペンダントは、間伐材を使用しているため、大きさや形や色ともに同一のものはありません。



活動上の留意点

- ペンダント用のひもの長さは80cm程度で用意しています。長すぎる場合は、団体で短く切って使用してください。
- ペンダント用の木を利用して、その他の作品を作ることもできます。材料・道具は団体で準備してください。

作り方

- ① 輪切り材に絵や文字をかく。
- ② ひもを通す。

※ 飾りとして、小枝や木の実を接着剤で付けるのもよい。

作品例



イラストだけ描く



イラストと文字をかく



小枝や木の実を付ける

ペンダントに描く素材

- 油性マジック
- 水性マジック
- アクリル絵の具
- ボスカ
- ブロッキー
- ペイントマーカー
- ペンてるホワイト 等

焼きごての活用

- 当施設には、マスコットキャラクター（モリー）の「焼きごて」（45mm×55mm程度）があります。

ペンダントの裏面に焼き印を押すことで、記念にすることもできます。

- ※ 一台しかありませんので、詳しいことは当施設へご相談ください。





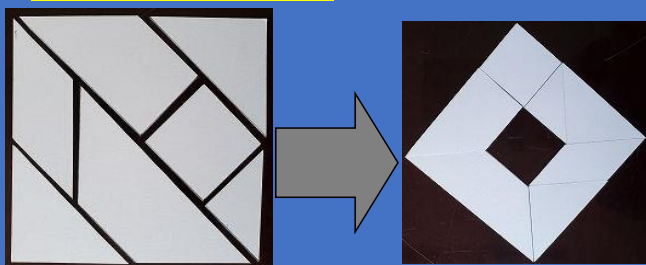
創
っ
て
み
よ
う
！



紙ひこうき



組み合わせパズル



紙クラフト

【 説 明 】

厚紙を使って、「紙ひこうき」や「組み合わせパズル」を作り、出来上がった作品で楽しむ活動です（両プログラムとしての計画を推奨）。

【 ね ら い 】

想像力や集中力を養うとともに、完成した時の達成感を味わう。



研修室 炊飯場
体育館 広場



0.5～1.0時間



100 人程度



小学校2年生～



通年



指導なし
（要電話予約）

貸出できるもの

- ・はさみ
- ・紙飛行機原稿、パズル原稿
（次頁参照）

団体で準備するもの

- ・接着剤 ・ものさし ・筆記用具
- ・クラフト材料費各 50 円/台紙 1 枚
（台紙を団体で準備する場合は不要）

■■■■■組み合わせパズル問題例■■■■■



さかな



かなづち



ツリー



つる



いえ

活動上の留意点

飛行機を飛ばす際は、周囲の安全を確認し、安全と事故防止に十分留意してください。



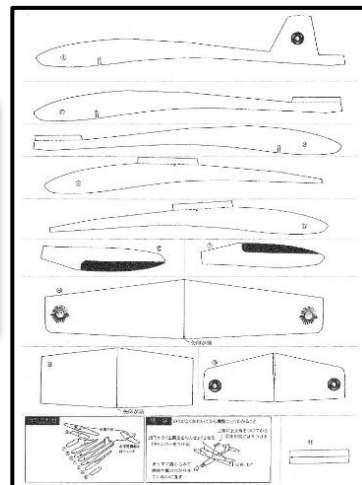
台紙は、各団体が準備されてもかまいません。

紙ひこうき

※ 印刷原稿が必要な場合は、下見打ち合わせの時に
お申し出ください。

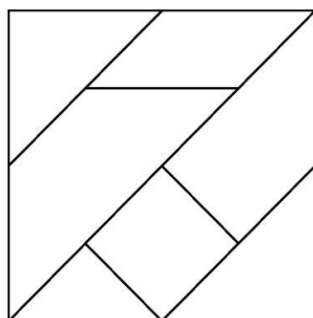
制作後の活動例(グループまたは個人で)

- 色を塗ったり模様を描いたりして、オリジナルの作品に仕上げる。
- 飛行距離を競って楽しむ。
- 滞空時間(飛行時間)を競って楽しむ。
- 床に模造紙やフープを置き、着地点を得点化して、合計得点で競って楽しむ。



組み合わせパズル

難易度別問題例



「清少納言の知恵の板」として
書物でも紹介されています。

入門



菊

竹



ポット



山



しちりん



かもめ



ちょうちん



かぶと



糸切ばさみ



つぼ



ほうちょう



台形



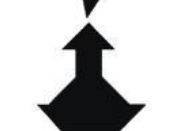
お皿



やじるし



なす



ランプ



水晶



いちりんざし

中級



ろうそく



矢



れんげ



はと



さしがね



サギ



砂時計



王冠



ぼんぼり



なべふた



くし



手鏡



水がめ



つばめ



ゆず



たか



かかし



するめ

上級